

対象国の条件:

研修コース番号 :J1804397

案件番号 :1884738

主分野課題 :自然環境保全/持続的自然資源利用

副分野課題 :貧困削減/貧困削減

使用言語 :英語

案件概要

森林管理に携わる途上国の行政機関等が地域住民の参加による様々な活動を通じて森林管理活動を実施できることを目的とする。

目標/成果	対象組織/人材	
<p>【案件目標】 持続的森林管理に必要な知識・技術並びに地域住民の参加による持続的森林管理を実現するための必要な手法・事例が、所属部署組織の関連部署で共有される。</p> <p>【成果】 1. 日本の国・自治体（北海道）の持続的森林管理に係る計画、組織・制度、施業の実例（地域住民の関わり）を理解する。 2. 日本の市町村、個人・企業・森林組合等による森林施業と木材利用の実例（地域住民との関わり）や技術を理科する。 3. 日本の自然保護と保護区管理の制度や実例（地域住民との関わり）を理解する。 4. 持続的な森林管理に向けた住民の生計ニーズ配慮と参加の重要性についての国際議論、手法および取組みを理解する。 5. 研修内容を踏まえ、自国の地域住民の参加による持続的森林管理のための課題を再整理し、課題解決に向けた技術面・制度面での実践にかかる提案を作成する。</p>	<p>【対象組織】 森林管理にかかる公的機関</p> <p>【対象人材】 地域住民に森林管理の普及ができる者。関連業務を3年以上経験を有する者。</p>	
<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>【事前活動】 自国の地域住民の参加による森林管理活動の現状にかかるインセプションレポートの作成・提出</p> <p>【本邦研修】 以下の内容の講義、実習、演習、討論、視察を行う。 1. 日本の森林・林業、国の森林計画、組織・制度、施業の実例を理解する 2. 北海道など都道府県レベルの森林計画、組織・制度、実例 3. 国・道の森林・林産研究、大学による研究・教育（演習林） 4. 地域による森林施業の実例と、森林施業技術（育種、さし木、育苗、保育等） 5. 地域による木材利用の実例と、木材加工技術（合板、ペレット、炭等バイオマス利用） 6. 国、自治体、地域住民の関わりによる自然保護と利用（森林保全、生物多様性保全、保護区管理、森林公園）について理解する。 7. 持続的森林管理のための国際的な森林認証制度 8. 地域住民の生計ニーズと森林資源管理：住民参加、規制、インセンティブ 9. J I C Aにおける持続的森林管理の取組み 10. プロジェクトマネジメント（PCM、プレゼンテーション技術） 11. 参加者の経験の共有（地域住民による森林管理の課題と解決事例） 12. ディスカッション（本研修コースで学んだ内容の理解を深める）</p> <p>【事後活動】 所属組織における報告の実施</p>	<p>本邦研修期間</p>	<p>2018/8/22～2018/11/17</p>
	<p>担当課題部</p>	<p>地球環境部</p>
	<p>所管国内機関</p>	<p>JICA北海道（帯広）</p>
	<p>関係省庁</p>	<p>農林水産省</p>
<p>主要協力機関</p>	<p>一般社団法人 海外林業コンサルタント協会</p>	
<p>特記事項 及び ホームページ</p>	<p>社団法人海外林業コンサルタント協会のURL http://www.jofca.or.jp/</p>	